

「食の安全・安心」についてのアンケート結果

県民の皆さんが食の安全・安心に関して、日ごろ感じておられることをお聞きし、今後の県政(滋賀県食の安全・安心推進計画や滋賀県食品衛生監視指導計画など)に反映するため、アンケート調査を実施しました。

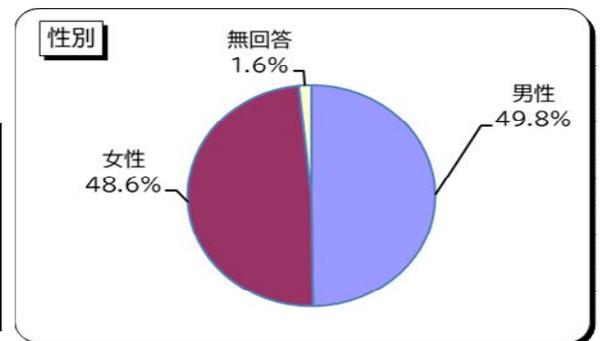
なお、このアンケートは、県民の皆様の意識の推移も参考とさせていただいておりますので、平成17年度より継続して実施しています。

- ★ 実施時期: 令和7年6月
 - ★ 対象者: 県政モニター 300人
 - ★ 回答数: 245人 (回収率: 81.7%)
 - ★ 担当課: 健康医療福祉部 生活衛生課 食の安全推進室
- (※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

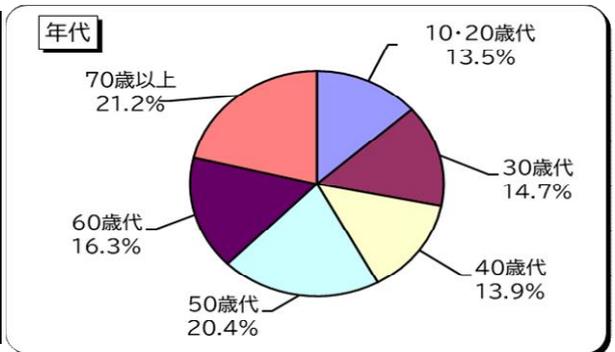
◆性別

項目	人数(人)	割合
男性	122	49.8%
女性	119	48.6%
無回答	4	1.6%
合計	245	100.0%



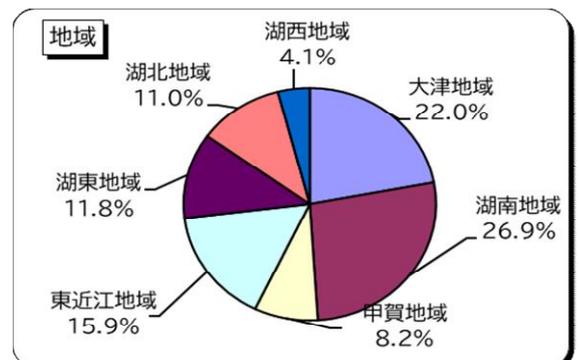
◆年代

項目	人数(人)	割合
10・20歳代	33	13.5%
30歳代	36	14.7%
40歳代	34	13.9%
50歳代	50	20.4%
60歳代	40	16.3%
70歳以上	52	21.2%
合計	245	100.0%



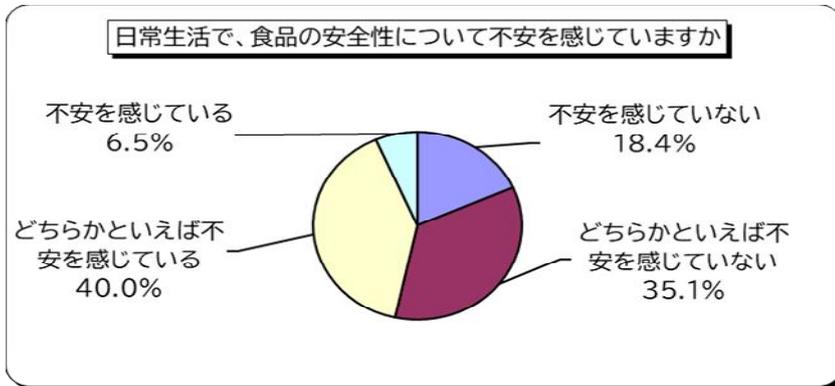
◆地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	54	22.0%
湖南地域	66	26.9%
甲賀地域	20	8.2%
東近江地域	39	15.9%
湖東地域	29	11.8%
湖北地域	27	11.0%
湖西地域	10	4.1%
合計	245	100.0%



問1 あなたは日常生活で、食品の安全性について不安を感じていますか。(n=245)

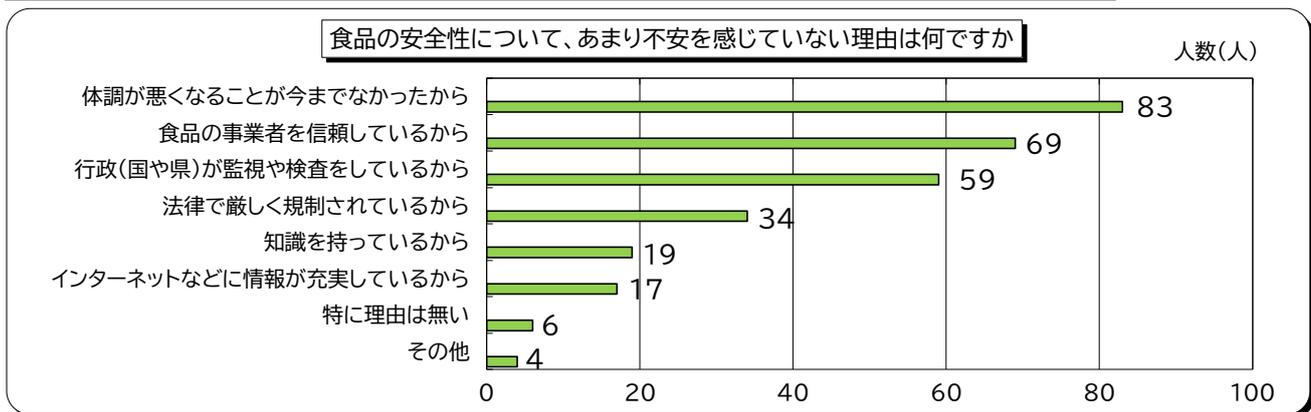
項目	人数(人)	割合
不安を感じていない	45	18.4%
どちらかといえば不安を感じていない	86	35.1%
どちらかといえば不安を感じている	98	40.0%
不安を感じている	16	6.5%
合計	245	100.0%



【問1で「不安を感じていない」または「どちらかといえば不安を感じていない」と回答された方にお尋ねします。】

問2 食品の安全性について、あまり不安を感じていない理由は何ですか。
 (「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=131)

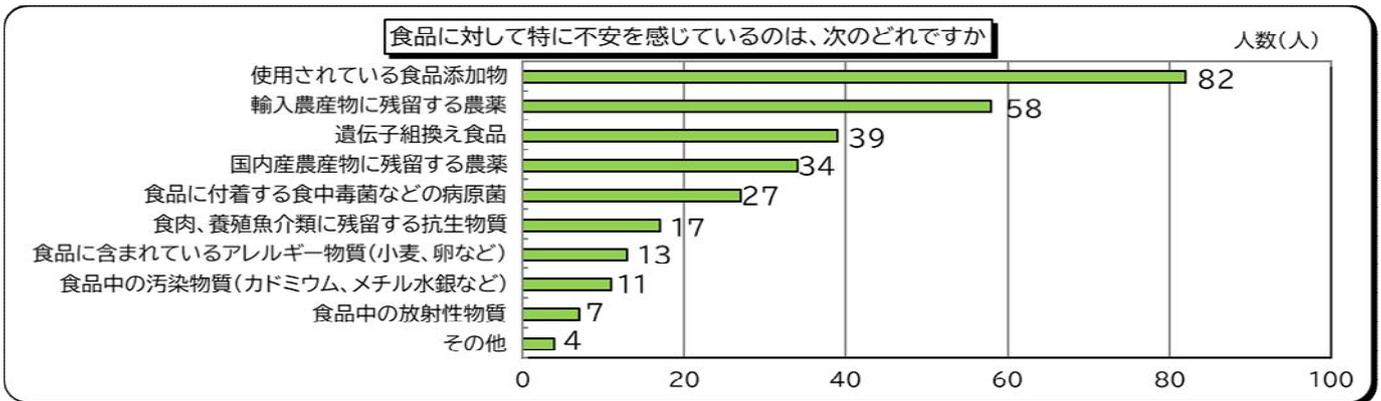
項目	人数(人)	割合
体調が悪くなることが今までなかったから	83	63.4%
食品の事業者を信頼しているから	69	52.7%
行政(国や県)が監視や検査をしているから	59	45.0%
法律で厳しく規制されているから	34	26.0%
知識を持っているから	19	14.5%
インターネットなどに情報が充実しているから	17	13.0%
特に理由はない	6	4.6%
その他	4	3.1%



【問1で「どちらかといえば不安を感じている」または「不安を感じている」と回答された方にお尋ねします。】

問3 食品に対して特に不安を感じているのは、次のどれですか。(回答チェックは3つまで。n=114)

項目	人数(人)	割合
使用されている食品添加物	82	71.9%
輸入農産物に残留する農薬	58	50.9%
遺伝子組換え食品	39	34.2%
国内産農産物に残留する農薬	34	29.8%
食品に付着する食中毒菌などの病原菌	27	23.7%
食肉、養殖魚介類に残留する抗生物質	17	14.9%
食品に含まれているアレルギー物質(小麦、卵など)	13	11.4%
食品中の汚染物質(カドミウム、メチル水銀など)	11	9.6%
食品中の放射性物質	7	6.1%
その他	4	3.5%



問4 次の(1)～(3)の項目について、滋賀県内に流通している食品のうち、食品添加物が使われていた場合に不安を感じる食品について該当するものを選択してください。(各項目回答チェックは2つまで)(n=245)

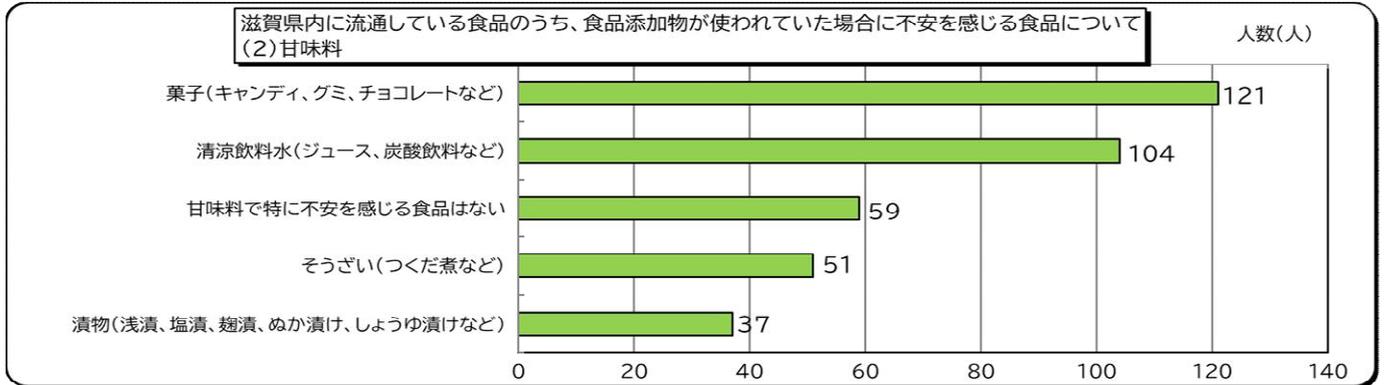
(1)保存料

項目	人数(人)	割合
食肉製品(ハム、ソーセージなど)	133	54.3%
魚肉練り製品(かまぼこ、ちくわなど)	62	25.3%
そうざい(つくだ煮、揚げ物など)	57	23.3%
保存料で特に不安を感じる食品はない	54	22.0%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	43	17.6%
漬物(浅漬、塩漬、麴漬、ぬか漬、しょうゆ漬など)	42	17.1%



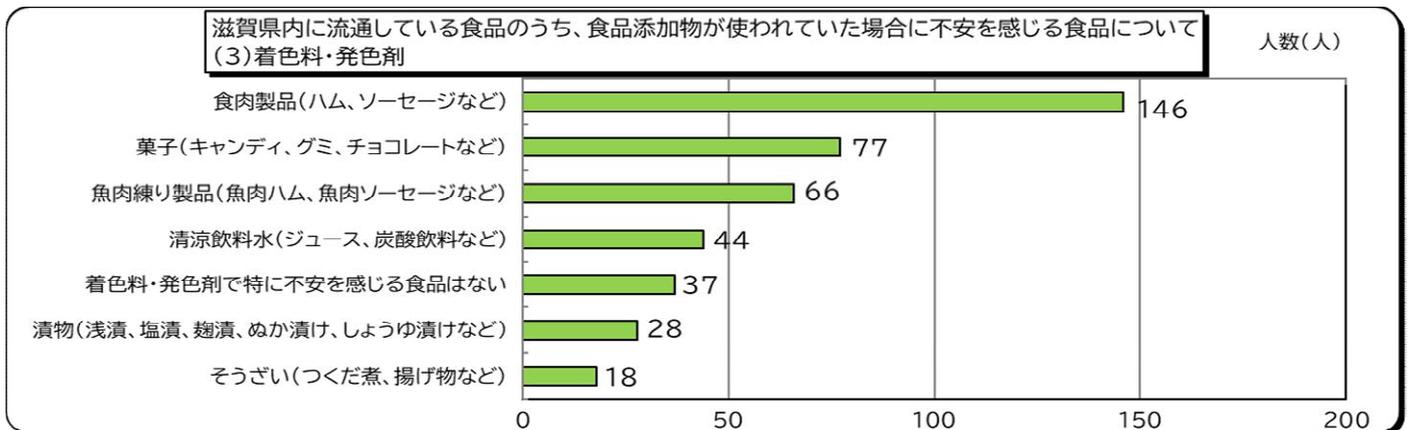
(2)甘味料

項目	人数(人)	割合
菓子(キャンディ、グミ、チョコレートなど)	121	49.4%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	104	42.4%
甘味料で特に不安を感じる食品はない	59	24.1%
そうざい(つくだ煮など)	51	20.8%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	37	15.1%



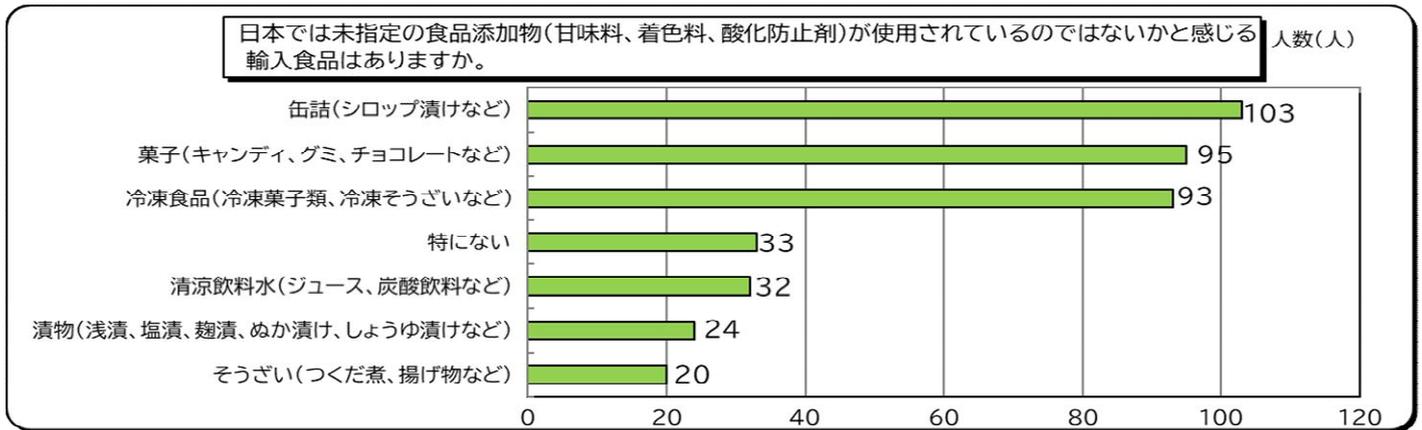
(3)着色料・発色剤

項目	人数(人)	割合
食肉製品(ハム、ソーセージなど)	146	59.6%
菓子(キャンディ、グミ、チョコレートなど)	77	31.4%
魚肉練り製品(魚肉ハム、魚肉ソーセージなど)	66	26.9%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	44	18.0%
着色料・発色剤で特に不安を感じる食品はない	37	15.1%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	28	11.4%
そうざい(つくだ煮、揚げ物など)	18	7.3%



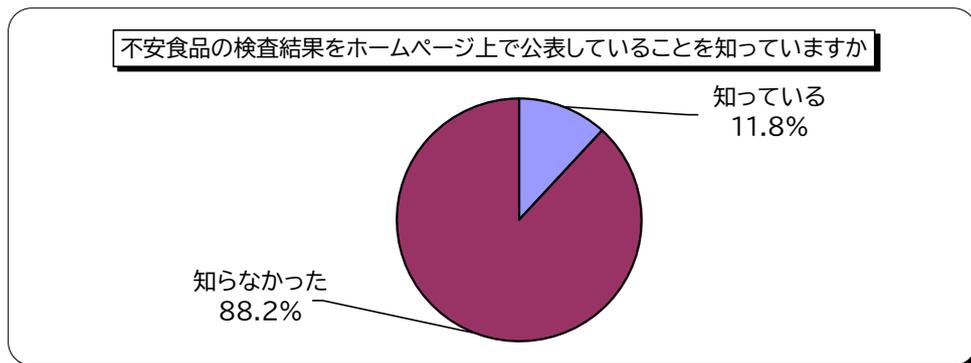
問5 日本では未指定の食品添加物(甘味料、着色料、酸化防止剤)が使用されているのではないかと感じる輸入食品はありますか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックは2つまで)(n=245)

項目	人数(人)	割合
缶詰(シロップ漬けなど)	103	42.0%
菓子(キャンディ、グミ、チョコレートなど)	95	38.8%
冷凍食品(冷凍菓子類、冷凍そうざいなど)	93	38.0%
特にない	33	13.5%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	32	13.1%
漬物(浅漬、塩漬、麴漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	24	9.8%
そうざい(つくだ煮、揚げ物など)	20	8.2%



問6 滋賀県では、平成26年度から県政モニターアンケート結果を参考に、「不安を感じている」と回答された割合の高い食品を選んで検査を実施し、令和6年度に実施した結果についてはホームページ上に公表しています。このことを知っていますか。(n=245)

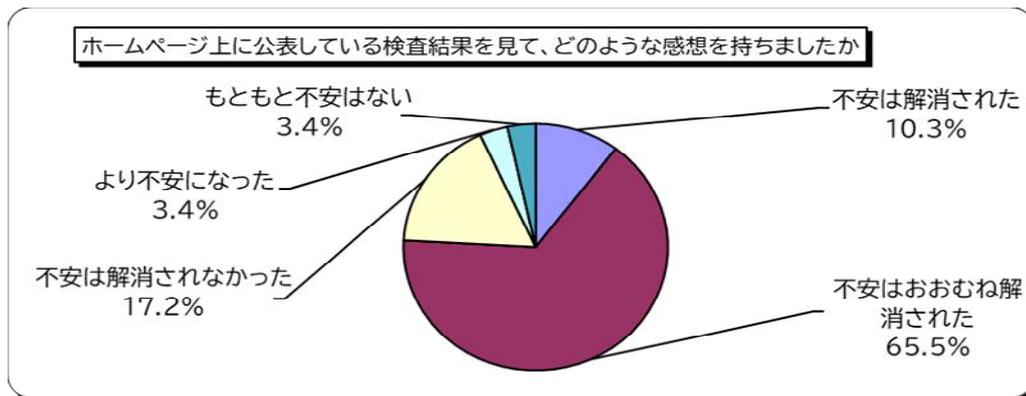
項目	人数(人)	割合
知っている	29	11.8%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	216	88.2%
合計	245	100.0%



【問6で「知っている」と回答された方にお尋ねします。】

問7 ホームページ上に公表している食品の検査結果をご覧になって、どのような感想を持ちましたか。(n=29)

項目	人数(人)	割合
不安は解消された	3	10.3%
不安はおおむね解消された	19	65.5%
不安は解消されなかった	5	17.2%
より不安になった	1	3.4%
もともと不安はない	1	3.4%
合計	29	100.0%



【問7で「不安は解消されなかった」「より不安になった」と回答された方にお尋ねします。】

問8 ホームページ上に公表している3つの検査結果(残留農薬、食品添加物、指定外添加物)を踏まえて不安が解消されなかった、より不安になった項目を選択してください。(回答チェックは3つまで)(n=6)

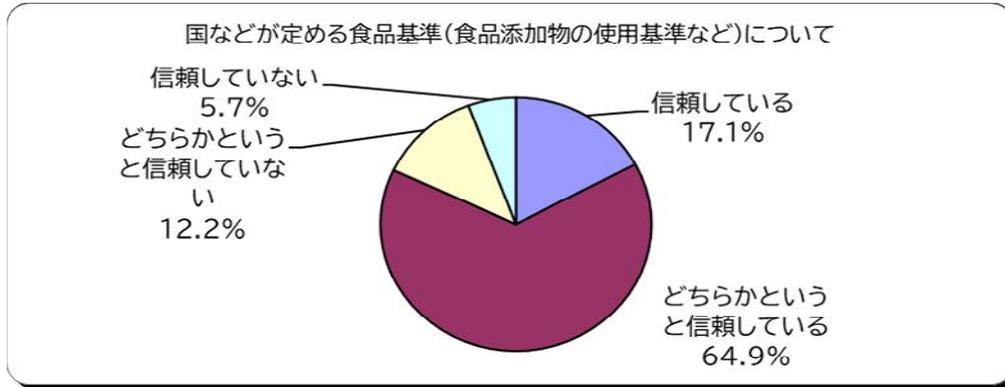
項目	人数(人)	割合
食品添加物について不安が解消されなかった(より不安になった)。	6	100.0%
指定外添加物について不安が解消されなかった(より不安になった)。	5	83.3%
残留農薬について不安が解消されなかった(より不安になった)。	3	50.0%



問9 食品にたずさわる関係者に対する信頼感についてお尋ねします。(回答チェックは各1つ。n=245)

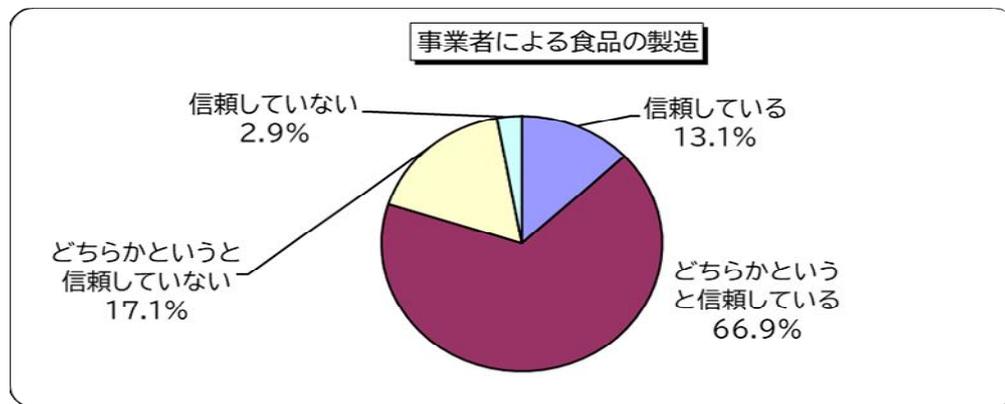
(1)国などが定める食品の基準(食品添加物の使用基準など)について

項目	人数(人)	割合
信頼している	42	17.1%
どちらかという信頼している	159	64.9%
どちらかという信頼していない	30	12.2%
信頼していない	14	5.7%
合計	245	100.0%



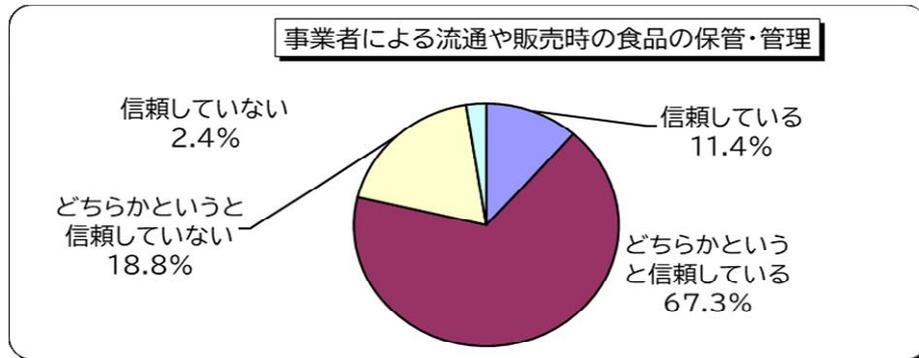
(2)事業者による食品の製造などが適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	32	13.1%
どちらかという信頼している	164	66.9%
どちらかという信頼していない	42	17.1%
信頼していない	7	2.9%
合計	245	100.0%



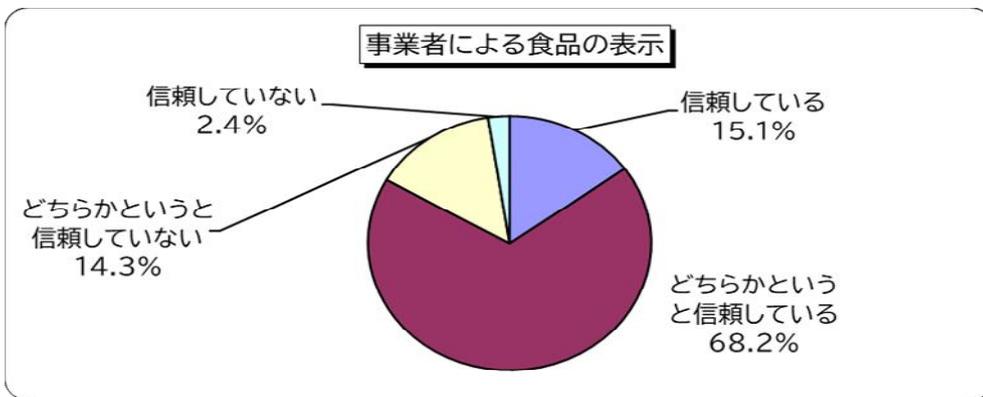
(3)事業者による流通や販売時の食品の保管・管理が適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	28	11.4%
どちらかという信頼している	165	67.3%
どちらかという信頼していない	46	18.8%
信頼していない	6	2.4%
合計	245	100.0%



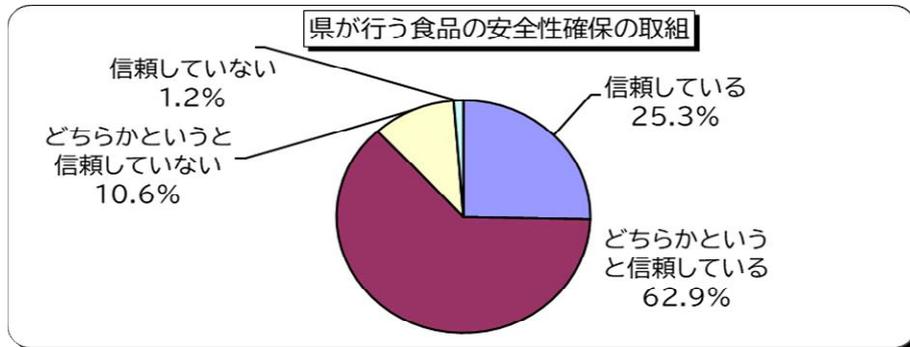
(4)事業者による食品の表示が適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	37	15.1%
どちらかという信頼している	167	68.2%
どちらかという信頼していない	35	14.3%
信頼していない	6	2.4%
合計	245	100.0%



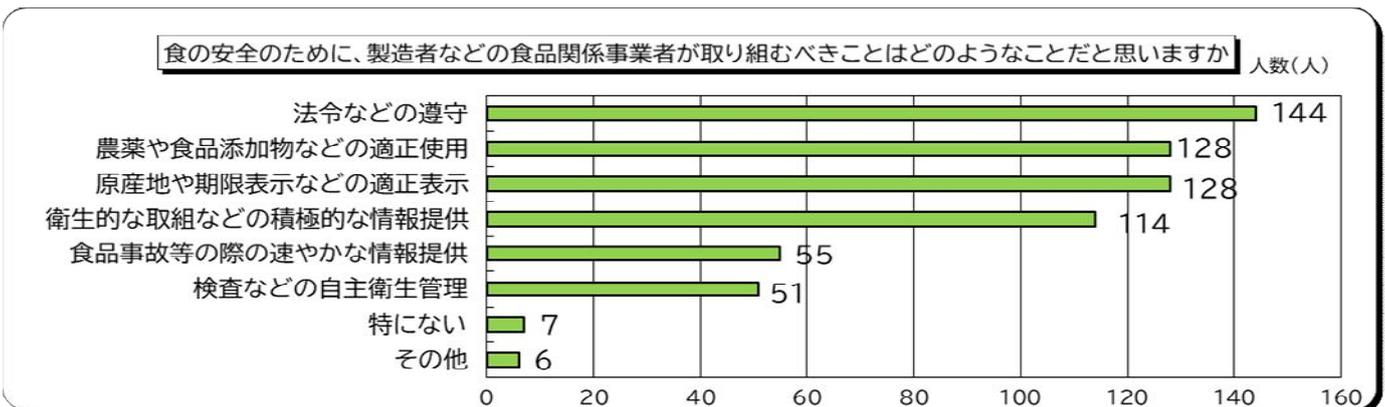
(5)県が行う食品の安全性確保の取組(飲食店などの立入検査や食品の検査等)について

項目	人数(人)	割合
信頼している	62	25.3%
どちらかという信頼している	154	62.9%
どちらかという信頼していない	26	10.6%
信頼していない	3	1.2%
合計	245	100.0%



問10 あなたは、食の安全のために、製造者などの食品関係事業者が取り組むべきことは、どのようなことだと思いますか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで。n=245)

項目	人数(人)	割合
法令などの遵守	144	58.8%
農薬や食品添加物などの適正使用	128	52.2%
原産地や期限表示などの適正表示	128	52.2%
衛生的な取組などの積極的な情報提供	114	46.5%
食品事故等の際の速やかな情報提供	55	22.4%
検査などの自主衛生管理	51	20.8%
特にない	7	2.9%
その他	6	2.4%



問11 あなたは、食の安全のために、消費者が果たすべき役割とはどのようなことだと思いますか。

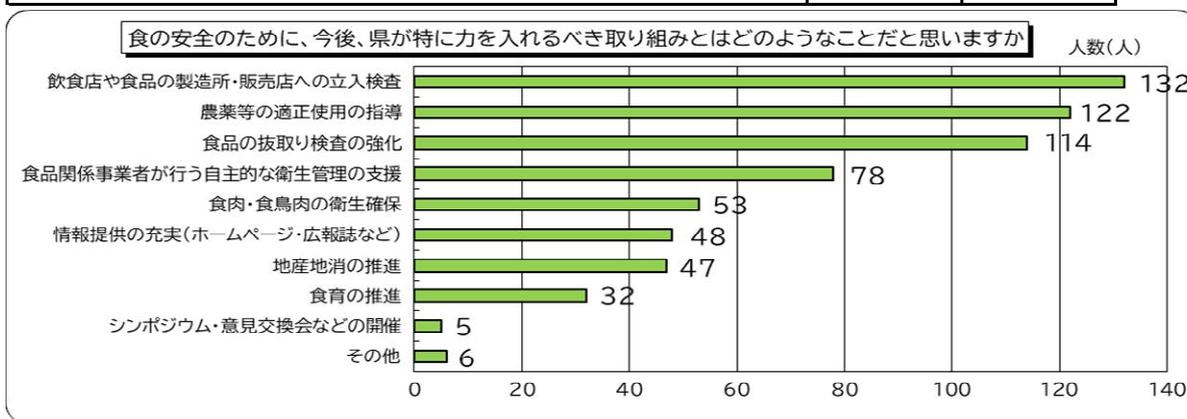
(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで。n=245)

項目	人数(人)	割合
家庭における日常の衛生管理(手洗い、食品の適切な取扱いなど)	174	71.0%
食品表示の理解と確認	141	57.6%
信頼できる事業者から食品を購入	123	50.2%
食品衛生に関する情報収集	112	45.7%
行政や食品関係事業者への積極的な意見	29	11.8%
特にない	5	2.0%
講演会などへの積極的な参加	5	2.0%
その他	2	0.8%



問12 あなたは食の安全のために、今後、県が特に力を入れるべき取組とはどのようなことだと思いますか。(回答チェックは3つまで。n=245)

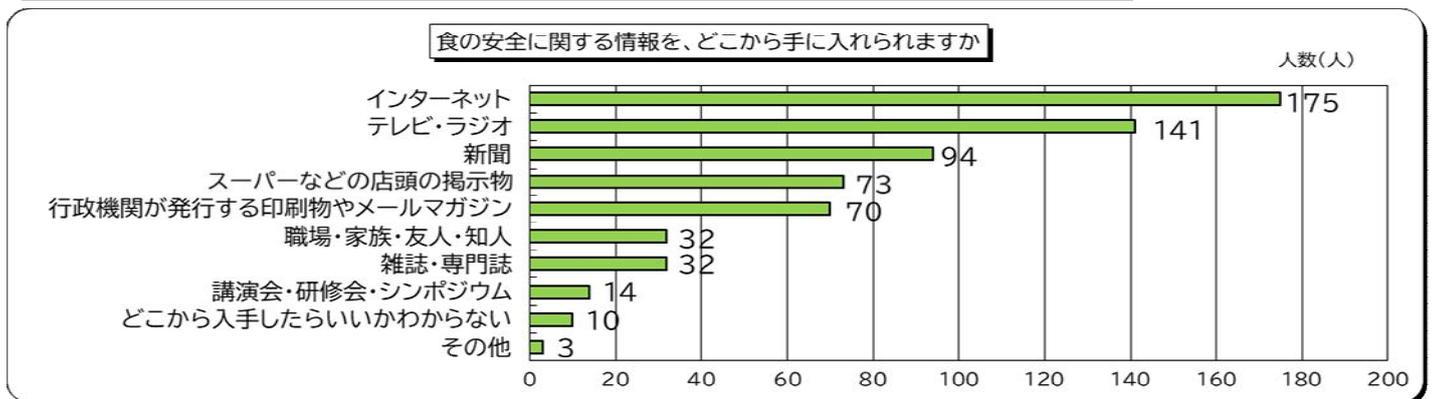
項目	人数(人)	割合
飲食店や食品の製造所・販売店への立入検査	132	53.9%
農薬等の適正使用の指導	122	49.8%
食品の抜き取り検査の強化	114	46.5%
食品関係事業者が行う自主的な衛生管理の支援	78	31.8%
食肉・食鳥肉の衛生確保	53	21.6%
情報提供の充実(ホームページ・広報誌など)	48	19.6%
地産地消の推進	47	19.2%
食育の推進	32	13.1%
シンポジウム・意見交換会などの開催	5	2.0%
その他	6	2.4%



問13 あなたは、食の安全に関する情報を、どこから手に入られますか。

(「どこから入手したらいいかわからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=245)

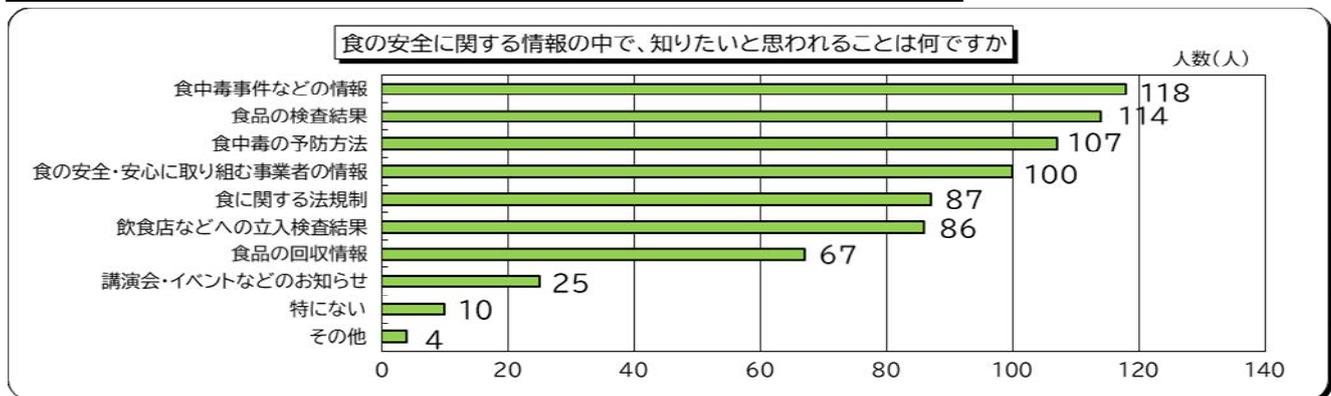
項目	人数(人)	割合
インターネット	175	71.4%
テレビ・ラジオ	141	57.6%
新聞	94	38.4%
スーパーなどの店頭の掲示物	73	29.8%
行政機関が発行する印刷物やメールマガジン	70	28.6%
職場・家族・友人・知人	32	13.1%
雑誌・専門誌	32	13.1%
講演会・研修会・シンポジウム	14	5.7%
どこから入手したらいいかわからない	10	4.1%
その他	3	1.2%



問14 あなたが、食の安全に関する情報の中で、知りたいと思われることは何ですか。

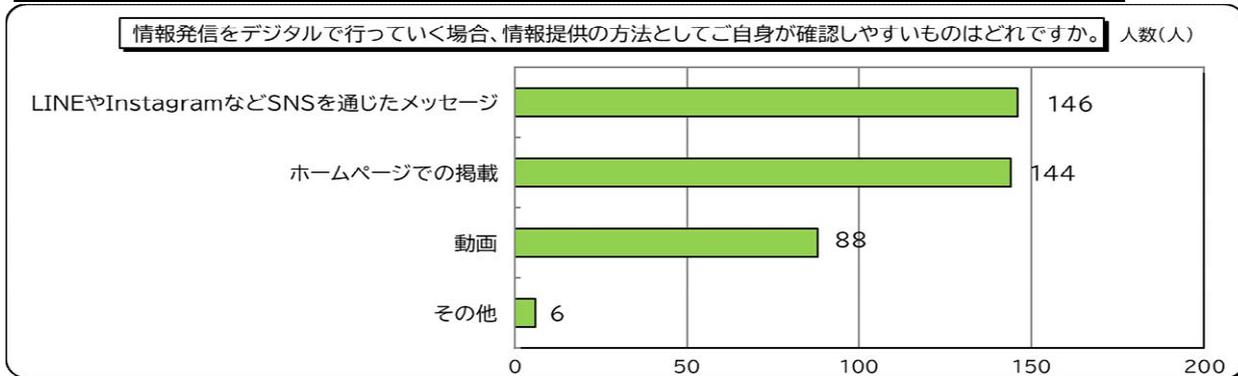
(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=245)

項目	人数(人)	割合
食中毒事件などの情報	118	48.2%
食品の検査結果	114	46.5%
食中毒の予防方法	107	43.7%
食の安全・安心に取り組む事業者の情報	100	40.8%
食に関する法規制	87	35.5%
飲食店などへの立入検査結果	86	35.1%
食品の回収情報	67	27.3%
講演会・イベントなどのお知らせ	25	10.2%
特にない	10	4.1%
その他	4	1.6%



問15 情報発信をデジタルで行っていく場合、情報提供の方法としてご自身が確認しやすいものはどれですか。
 (回答チェックはいくつでも。n=245)

項目	人数(人)	割合
LINEやInstagramなどSNSを通じたメッセージ	146	59.6%
ホームページでの掲載	144	58.8%
動画	88	35.9%
その他	6	2.4%



問16 あなたが、食の安全について、日頃感じていることを自由に記入してください。

【主な意見】

- ・添加物や農薬使用量については、一消費者としては適正に使用されていることを信じるしかないので、食品関係業者が不正使用しないよう、今後も行政や関係機関が厳しく監視・検査・指導してほしい。
- ・食品に関して、心配しても、仕方がない部分があり、信用して物を買わなければならないからこそ、業者の方も誤魔化さず、隠さず、きちんと商品を店頭並べてほしい。
- ・消費者自身が判断していかないといけない。
- ・製造者や産地、消費期限や賞味期限は、必ず確認しており徹底してほしい。
- ・県で行っている食品安全に関する様々な検査・検査結果をもっと積極的に開示してほしい。
- ・販売までのルートがわかりやすいと、消費者の安心に繋がると思う。
- ・食の安全は食品会社、卸、小売業、消費者、運送会社など流通に携わるそれぞれの人が意識する必要があると思う。
- ・食品で規制している物質や基準が適切であるのか、大変不安に感じる。最新のデータに基づく法規制、取り締まり、啓発を推進してほしい。
- ・以前より食品回収の情報提供が増えているように感じるので、製造現場での適切な管理をお願いしたい。
- ・食品成分の表示がわかりにくい。情報提供を分かりやすくしてほしい。
- ・野菜における農薬使用の有無、卵や肉製品については飼育方法・飼料(遺伝子組み換えかどうか)などが、売り場の価格表示と共に明記してあれば安心できる。
- ・消費者は売られている物が安全だと信頼できないと買い物も食することも出来ない。
- ・農家の野菜や果物は生産者を信じるしかない。輸入品については行政の管理や検査を信じるしかない。
- ・安心安全のためにも多少値段が高くても地産地消を意識している。
- ・添加物や管理方法などは目にみえないものなので、表示などで確認したらあとは信用して購入するしかない。検査の結果などを広く情報発信してほしい。
- ・積極的に取り組んでいる事業者がどこなのか、安全な食品はどれなのか一般の人にも簡単に分かるようにしてほしい。
- ・重篤あるいは大規模な健康被害を防止するための施策は必要。人々が安心できる様な材料、情報を提供してほしい。
- ・食品を作る側と一般消費者の人の知識の差が著しい。興味が少しでもある消費者だけでなく興味が無い消費者にもアクセスできると衛生的にもより良くなると思う。
- ・産地や添加物などが明確になっているものは安心して購入しやすいので、情報を正確に、明確にすることはこれからも続けてほしい。
- ・日本の基準が甘いように思う。
- ・食品添加物について外食などではチェックすることができず不安に思うことが多々ある。